



Japan Sporting Equipments Retailers Association

No.66

編集/発行:日本スポーツ用品協同組合連合会
〒111-0053 東京都台東区浅草橋5-8-6
東京スポーツ会館 301号室
☎ 03-5829-6490 FAX 03-5829-6491
ホームページ <http://www.jsera.jp/>
E-mail jsera@jsera.jp

(2013/8~2014/7のスローガン)

元気結集! ひとつの力より みんなの力



2013 から 2020 へ

JSERA・日本スポーツ用品協同組合連合会

理事長 重森 仁

去る10月24日に開催いたしました第14回
定時総会、全国大会には、島根県知事始め、各
界のご来賓の方々のご臨席を賜り、また多数の
メーカー・卸の方々のお出席を頂き、意義深い大
会になりました。また、組合員も積極的に参加
し充実した内容になったことと思います。関係
各位に深くお礼申し上げます。また、大会開催
県、浅津理事長始め島根県組合の皆様、サポ
ートくださった尾坂会長始め中国ブロックの皆様
に心より御礼申し上げます。

さて、総会の中でも申し上げましたが多くの
課題の中、今年の重点として取り組みたいこと
は次のことです。

一つ目は、ご存知の通り、2020年東京オリ
ンピック・パラリンピック開催が決定した件に
関することです。招致活動に関わってこられた
方々に心より敬意とお礼申し上げます。

われわれJSERAも、東京オリンピック・パ
ラリンピック招致を2月の全国理事長会議のメ
インテーマに掲げ、橋本聖子議員、当事のミズ
ノ上治副社長様からオリンピックのすばらし
さ、スポーツ振興の重要さなどをご教示いた
だき、モチベーションを高めて参りました。この
大イベントを機会にスポーツ庁創設が現実のも
のとなり、スポーツ界が進化、発展することを
期待すると共に、あわせてスポーツ業界、三層
の商環境が改善することを期待します。更にス
ポーツの枠を超え、東北を、そして日本を元氣
にし、世界の平和に貢献するものになれば最高

といえましょう。

そのスタートの年として、実を結ぶ計画とア
クションプログラム作成に取り組むことになり
ます。オリンピックは、とかくトップアスリー
トに目が行きがちですが、プレゼンテーション
でも取り上げられたようにスポーツが多くの人
域、人々に広がるような視点に立った取り組み
も必要と考えます。また、東京だけのものと考
えず、JSERA組合員それぞれの地域のスポーツ
振興に貢献するものとしなければなりません。

二つ目は間近に迫った問題です。それは、消
費税の増税問題です。増税実施後に来るであろ
う消費の落ち込みはもちろんのこと、移行時
にも厄介な問題が多々あります。特に4月1日
を挟む学納については、色々と面倒なことがあ
るかと思います。内税から外税への対応にも課
題があります。またポスレジ等システム変更
には、かなりの時間と費用が発生する場合もあ
り、早めの準備が必要です。各都道府県の中
小企業中央会にはスペシャリストがおられます
。その方々等の指導を受けつつ、よりベターな
対策をお願いいたします。JSERAとしても可
能な対策を講じていきたいと思ひます。

三つ目は利益率向上の件です。

我々組合員は、グローバルな視点を持ちつ
つ、今日、明日の糧も求めなければなりません
。そのためには、利益率を高めなければなり
ません。大型店が40%を超える利益率を上げ
ているなかで、多くの組合員は本当に低い利
益率で

経営をしています。身を削る経営では先が見えません。何としても、価格競争からの脱却を進めなければなりません。環境は良くありません。とりわけ、ネットの乱売は目を覆いたくなります。JSERAは問題提起を受け、ソフトテニスや軟式野球等の公認球乱売に取り組んできました。ソフトテニスボールに、改善の兆しがありますが、満足なものではありません。問題が提起された時点のソフトテニスボール公認球の割引率は大きいところでは40%を越えていました。楽天市場今年10月22日の時点で公認球は最大36%OFFで、5ポイントほどは改善いたしましたが、公認球自体が36%も割引されて売られている環境が問題でしょう。引き続き取り組みたいと思います。

数日前、カンブリア宮殿という番組をテレビで見ました。物価の優等生と言われ、安い価格で売られる卵に、付加価値を付けて利益を得る仕組みに感心しました。熊本県菊池市の(有)コッコファームの話です。

ご覧になった方もあったと思います。卵を応用した多角的な商品 ネットでの販売も行っています。10月22日の朝取り卵のネット販売価格は、送料込み2.5kg税込¥1,500でした。2.5kgは約40個だそうです。1個38円ほどです。スーパーの3倍ですが、すぐに売り切れてしまうそうです。美味しさ、新鮮さの仕掛けが付加価値を生んでいるわけです。この番組で気付いた一つに、「価値が価値を生む」事があります。この卵が価値あると認知された今では、ヒビの入った卵、割れた卵も本来なら加工業者に買い叩かれるはずですが、ここでは、直売所で飛ぶように売れます。捨てるようなものまで価値を生みます。我々の業界にみられるような安く仕入れた者が、安く売ることによって優位に立つのとは雲泥の差があります。安く仕入れて、安く売る行動を続ければ、三層の誰かにひずみが来ます。どうか、この話を参考にして、安売りのスパイラルから抜け出せる三層であって欲しいと思います。まずは、我々組合員が一步を踏みだしたいものです。

その他、継続して取り組んでいる課題はもちろんのこと、その時々が発生した課題についてタイムリーに対応して参りますが、ベースとして、三層協調の精神が大切と考えます

組合活動の一つにスポーツ大会会場における売店活動があります。メーカー・卸様も何らかの形で、JSECの枠組みで行われる全国三大大会の売店活動をはじめ、その他の全国大会、地方大会の売店活動に関わっておられると思います。三層が協調して大会を盛り上げると共に、

収益の一部は地域スポーツ振興や社会貢献事業に使われてきました。三層の売店活動は、近江商人の家訓として知られる「三方よし」（売り手よし、買い手よし、世間よし）の精神を具体化したものと大切にしたいものです。ところが、一部に儲け主義に走っていると受け取られる行動が目につくようになりました。いわゆる、アウトサイダーといわれる人たちの行動も目を覆いたくなることがあります。儲からないとなると出店計画を切り上げて、早々にテントをたたむ業者、営業時間を守らない業者、地元への配慮がない業者、・・・・異業種の出店が活発化するなかで、競争が激化し、売店活動の原点を忘れかけていないでしょうか。質の良い記念品を割安で提供することによって、売り手、買い手は良いでしょうが、地域社会（世間）はどうでしょうか、関係協会に協賛しているからといって、「世間よし」と言えるのでしょうか。それは片手落ちではありませんか。たとえば、ある体育館種目があったとしましょう。その協会に協賛金を出して出店したとしましょう。確かにその金は、競技協会を通じて地域の当該スポーツの振興に寄与することはあるでしょう。でも、その競技を行うには体育館が必要です。その建設、維持にはその地域の税金が使われています。大会会場付近の混雑で、地域の人々に迷惑をかけることもあります。様々な方々の協力も必要です。このように幅広い裾野があることを認識していただければ、当該競技協会との連携では不十分と言えましょう。だから、JSECでは収益の一部を組合が受け取り社会貢献に生かす枠組みができていますし、それが「世間よし」ということでしょう。

それゆえ、収益の一部を受け取る我々組合、組合員にも社会貢献の精神が求められます。全国的に「児童養護施設にボールを贈ろう」を実施して10年になります。今年度は各組合員の協力を得て、全国児童養護施設協会全592施設にボールを贈呈いたしました。さらに一層充実した貢献事業をして行かなければなりません。しかし、残念ながら、組合員の中には抵抗勢力もあります。こんな苦しい状況の中では、奉仕よりも利益、儲かることに熱心になれとの揶揄もあります。どちらも大切であり、天秤にかけるものではありません。ただ、今日、商売ができた喜びを、ささやかでも社会に還元することが「三方よし」だと思います。「三方よし」の精神を実行に移せば、その先には、三層に吉兆が現れると確信します。「三方よし、三層吉（よし）」こそ、この業界の基本哲学ではないでしょうか。



日本スポーツ用品協同組合連合会

第14回定時総会 2013年島根大会ご案内

〔会場〕 ホテル一畑

タイムスケジュール

平成25年

10月23日〔水〕

18:30～

懇親夕食会

24日〔木〕

定時総会・全国大会

- 9:00～10:00 受付(組合員)
10:00～12:00 第14回定時総会
12:00～12:50 受付(来賓・メーカー様・卸様)
昼食(組合員)
13:00～14:00 全国大会「式典の部」
14:10～15:20 研修会 第一部(三層)
公益財団法人 日本サッカー協会 名誉会長
小倉 純二氏
15:30～16:10 NPO法人 日本ティーボール協会 理事長
早稲田大学人間科学学術院教授
吉村 正氏
16:20～17:30 研修会 第二部(三層)
①パネルディスカッション
②レディースフォーラム
18:30～20:30 三層懇親会

25日〔金〕

観光ツアー

- 7:00～ 朝食
8:00～14:30 観光バスツアー(松江城・出雲大社)
15:00 JR出雲市駅 解散
15:30 出雲縁結び空港 解散

三層親睦ゴルフコンペ

於:島根ゴルフ倶楽部
(平成25年全国都道府県対抗ゴルフ大会開催コース)

- 7:00 ホテル出発
8:00 スタート
14:00～14:30 ゴルフ場解散
15:00 出雲縁結び空港 解散
15:30 JR出雲市駅 解散

感謝状贈呈・功労者表彰名簿

◎感謝状贈呈

NO.	行 事	年度	組 合 名	理 事 長
1	国 民 体 育 大 会	25	東京スポーツ用品専門店協同組合	後 関 成 夫
2	全 国 高 校 総 体	25	福岡県スポーツ用品小売商協同組合連合会	武 宮 兼 敏
		25	佐賀県スポーツ用品協同組合	小 池 正
		25	長崎県スポーツ用品協同組合	松 原 究
		25	大分県スポーツ用品協同組合	吉 田 恒 久
3	全 国 中 学 校 体 育 大 会	25	静岡県スポーツ用品商業協同組合	碓 井 善 治
		25	愛知県スポーツ用品商業協同組合	土 赤 光 宏
		25	三重県スポーツ用品協同組合	角 前 博 道
		25	岐阜県スポーツ用品協同組合	澤 田 基 朗
4	J S E R A 全 国 大 会	24	北海道スポーツ用品小売商組合	村 住 俊 幸

◎功労者表彰

NO.	所 属 組 合 名	氏 名	店 名
1	栃木県スポーツ用品販売協同組合	佐 藤 百合子 さとう ゆりこ	(有)アーミーショップ
2	埼玉スポーツ用品小売商業協同組合	鹿 倉 敏 夫 しか くら とし お	(株)シカクラ
3	神奈川県運動具商協同組合	角 田 忠 久 つの だ ただ ひさ	(株)グリーンスポーツ
4	山梨県スポーツ専門店協同組合	井 東 健 男 い とう たて お	川井スポーツ
5	新潟県スポーツ用品小売商協同組合	幸 田 孝 司 こう だ たか し	スポーツショップ丸幸
6	福井県スポーツ用品協同組合	八 木 秀 雄 や ぎ ひで お	(株)ヤギスポーツ
7	静岡県スポーツ用品商業協同組合	望 月 誠 もち づき まこと	富士見台スポーツ
8	兵庫県運動用品商業協同組合	尾 川 一 郎 お かわ いち ろう	ポッポヤ
9	和歌山県スポーツ用品小売協同組合	故 久 保 豊 こ 久 ぼ ゆたか	メイトスポーツ
10	広島県スポーツ用品協同組合	岡 田 譲 治 おか だ じょう じ	(有)スポーツマルヒロ
11	香川県スポーツ用品協同組合	真 鍋 悦 造 ま ね へつ ぞう	(株)スポーツショップまなべ
12	福岡県スポーツ用品小売商協同組合連合会	平 岡 和 也 ひら おか かず や	(株)テツ&サンズ
13	沖縄県スポーツ小売商組合	大 嶺 たかし おお みね たかし	(有)オリンピック運動具店

第15期 第1回理事会報告

日 時：平成 25 年 9 月 12 日（木）

11：00～16：30

場 所：東京スポーツ会館 4 階 会議室

<審議事項>

1. 全国大会（定時総会）島根大会の件

・決算の件（資料 P13）

資料の通り。

・事業計画・予算の件（資料 14）

資料の通り。

・功労者表彰の件（資料 P23）

資料の 14 名を表彰する。

功労者表彰の規定を作成したが、同時に感謝状表彰の規定も作成する。

・レディースフォーラム補助の件

昨年初めての試みであり補助をしたが、今年は補助なし。

現時点での参加者は少ないが、当日参加いただけるよう声をかける。

・記念品の件（資料 P17～22）

ミキモト置時計に決定。（6 点候補より選定）

功労者表彰者 14 名と島根県知事・松江市長の計 16 名へ贈る。（全員一致で承認）

2. 今期の委員会・担当業務の件

（資料 P27・28）

・五輪担当・TPP 担当を新しく組み込み、資

料の通りとする。（全員一致で承認）

3. “「体育の日」ボールを贈ろう”10 周年事業の件（資料 P35～39）

・今年は 10 周年という事で本部事業として実施する。

・10 月 9 日 16：00 より全国社会福祉協議会にて目録贈呈式を行う予定で橋本聖子顧問、重森理事長、土赤副理事長が出席する。

（全員一致で承認）

<協議事項>

1. 平成 25 年東日本復興ウォーキング大会の件

・昨年のコースを変更し、新たなコースにて実施する

・東北ブロックの協力を得て実施できるようにする。

2. 消費税値上げの件（資料有）

・来年 4 月より 8% に up される予定であり、今年の総会（島根大会）で質疑応答の前、消費税値上げの説明会を開く。

・いろいろな情報があるが、より正確な情報を得るように。

3. その他

・2020 東京オリンピック・パラリンピックの開催決定のポスターを橋本聖子顧問に依頼してあるので入り次第全組合員に配布予定。

2013 JSERA・委員会と担当業務

活性化委員会

※重点 2020 東京オリンピック・パラリンピック成功に向けて

委員長 土赤 光宏 愛知県組合理事長

委 員 笹淵 信嘉（五輪担当）

福岡県組合連合会理事

〃 美馬 義一 高知県組合理事長

1 「体育の日」の活性化への努力（グローバルに）

2 スポーツ安心の場講習の改善と受講後の対応

3 スポーツ大会の推進（ブロック及び県組合）

4 各組合法人化の推進

共生委員会

※重点 三層と協調した利益率向上に向けた取り組みの研究

委員長 武宮 兼敏 福岡県組合連合会理事長

委 員 尾坂 真人（TPP 担当）

鳥取県組合理事長

〃 堀田 浩一 岐阜県組合副理事長

1 メーカー・卸との交流と対話

2 共生化ブロック組織作り

3 販売促進活動の正常化

無償提供・直売・レンタル問題への対応

大型店・アウトレット・通販の問題点の明確化

4 TPP 交渉の行方と業界

広報委員会

委員長	角前 博道	三重県組合理事長
委員	穴戸 幸市	栃木県組合副理事長
〃	桑原 勇健	福島県組合理事長

※重点 JSERA ホームページの活性化及びネット活用

- 1 広報誌 JSERA リポートの発行
- 2 POS 事業の推進
- 3 環境問題への理解と実践

事業委員会

委員長	関水 正章	神奈川県組合理事
委員	関口 孝夫	埼玉県組合理事
〃	松村 善行	宮城県組合理事長

※重点 全国大会の売店活動強化と儲かる商材の研究

- 1 ラインパウダー・ショッピングバッグ・スポーツ安全メガネ事業の推進
- 2 JSERA の商品づくり
- 3 大会情報伝達会議の開催と各種大会への表敬訪問ならびに情報収集
- 4 売店活動強化、改善（JSEC との連携等）

総務委員会

委員長	蓮田 茂樹	石川県組合理事
-----	-------	---------

※重点 消費税移行対策

- 1 各ブロック・各組合とのコミュニケーション
- 2 総会(全国大会)・理事会・全国理事長会議の設営
- 3 PL 保険等の見直し
- 4 国際交流
- 5 その他の委員会に属さないこと

会計

委員長	前田 哲	大阪府組合副理事長
-----	------	-----------

※重点 消費税移行対策

- 1 JSERA 会計
- 2 toto 事業の推進

JSERA 全国大会

「本当に有り難うございました」

JSERA 中国ブロック協議会

会長 尾坂 真人

台風一過の空が染みる秋です。過日は台風接近の中、『JSERA 定時総会・全国大会（島根大会）』に参加頂き有り難うございました。『神話のふると出雲』『雨に佳し水の都の松江城』を楽しんで頂くには些かきつい風雨となりましたが、皆様の寛容の心と、『神在月』にて結集頂いた『八百万の神様』のお蔭をもちましてホストブロックの大役を務め終えました事に安堵致す所です。種々の事情で分散せざるを得なかった宿舎問題、危惧した送迎配車には雨の拍車が掛りました。お叱りは「ごもっとも」で申し訳有りません。それらを総べて受け止めて対応を頂きました皆様に重ねて感謝を申し上げます。

研究会では『東京オリンピック』と『国民皆スポーツ』をテーマに日本サッカー協会 小倉純二名誉会長、日本テニス協会理事長 吉村正早稲田大学教授のお力を借り、問題提議をさせて頂きました。今後の議論と実践の中でスポーツの『裾広き故に山高し』の流れが再構築出来たらと思ひ願う次第です。

鳥取県に次いで全国最少人口、最少組合員の島根県が大役をお受けするには大変な躊躇と困難を伴いましたが、それ故に中国ブロック一丸となつての『火事場の馬鹿力』的結末が出来ました事は、今後への大いなる勇気と希望となりました。御支援に感謝し、次期開催『石川大会』の成功を祈念させて頂き御礼の言葉とさせて頂きます。

JSERA 全国大会を開催して

島根県スポーツ用品組合

理事長 浅津 博 行

10月23日から25日にかけて全国大会を開催しましたところ台風27号の接近する中、約170名のご参加を得て盛大にまた意義のある大会となりましたこと大変ありがたく、感謝いたしております。ありがとうございました。

島根県という交通手段の悪い地方に遠くは北海道・沖縄から全国よりお集まりいただき、主催者側としましては心より嬉しく思う反面で、皆様に喜んで頂くおもてなしが十分にできるか否か心配しました。

まず23日懇親夕食会は講師の日本サッカー協会名誉会長小倉純二様、日本テニス協会理事長吉村正様、メーカーの皆様、各県の理事長様を中心にご参加頂き95名でこの地方ならではの蟹鍋を食べながら楽しく懇談し、また余興には地元の熱田修二様のトランペット演奏で懐かしい楽曲を聴きにぎやかな夕餉となりました。



そして24日午前の第14回定時総会では「元気結集！ひとつの力よりみんなの力」のスローガンのもと8つの議案審議、10人の方に感謝状贈呈、13人の方に功労者表彰、委員会報告、質疑応答等がありました。

午後の式典には溝口島根県知事、松浦松江市長、





鮎川全国中小企業団体中央会政策推進部副参事、渡辺全日本スポーツ用品卸商組合連合会会長、田上関西スポーツ用品工業協同組合理事長様による来賓挨拶を頂戴して無事滞りなく閉会しました。

研修の部では〔第1部〕講演会として小倉純二日本サッカー協会名誉会長の「2020 東京オリンピック・パラリンピック・2014 ワールドカップサッカー大会に向けて」と題し日本サッカー協会としてこれまでの活動や今後の方向性についてお話し頂きました。



日本サッカー協会名誉会長
小倉 純二 様



日本テニスボール協会理事長
吉村 正 様

吉村日本テニスボール協会理事長（早稲田大学教授）には「テニスボールを通して国民皆スポーツ」の演題の元これからの少子化に対応してテニスボールを教科に取り入れたのは良かったけれど、教師方が残念ながら通販で

安い海外商品を購入しておられる実態を鑑み協会公認の商品をさらに開発していくという心強いご発言をいただきました。

〔第2部〕パネルディスカッションでは「2020 東京オリンピック・パラリンピックに向けての今後のスポーツ業界」というテーマで、メーカー・卸・小売それぞれで2020 に向けて今後7年間でのスポーツ業界に携わる我々業界としてお話いただきました。

東京オリンピック・パラリンピック招致活動の中で最も有効だったと思われるあの

素晴らしいプレゼンテーションの貴重な映像を御披露いただきました改めて感動しました。

25 日は、小雨の中観光組とゴルフ組に別れました。

観光の方は昨今パワースポットとして名高い八重垣神社、お城のお濠を小舟で巡る堀川遊覧、60 年ぶり平成の大遷宮の奉祝ムードが色濃く残る出雲大社を強行軍でしたが、何とか無事まわり最後はちょうど折よく出雲大社の隣にあります「古代出雲歴史博物館」で開催中の全国そばまつりで昼食をとり終了しました。

ゴルフの方は前日まで全国アマチュアゴルフ選手権が開催されておりました名門コースで楽しんでいただきました。お天気が悪かったのでスコアはいまひとつだったのではと思いますが、地方のローカルコースでのプレイもまたのんびりしていただけたのではないかと思います。

あれこれ至らないことばかりで御無礼なことも多々あったかと慮りますが、何しろ全国でも最小組合員のわが県ですので何とかご容赦いただきますようお願いいたします。

最後に大変お忙しい中御遠方よりお越しいたきました御来賓の皆様、講師の先生方、組合員の皆様、大会運営に御支援・ご協力いただきました地元の皆様に感謝いたします。ほんとにありがとうございました。そして次期開催「石川県大会」のご成功をまた、皆様のご健勝とより一層のご活躍を祈念しお礼の言葉といたします。



レディースフォーラムを開催して

島根県出雲市

セントラルスポーツ 浅津 秀子

台風で足元の悪いまたお忙しいなか、遠くは北海道より島根にお越しいただきましてありがとうございます。これまで同業他店の奥様方とあのように膝を突き合わせてお話するような機会は経験したことがありませんでしたのでどんな会合に成るやら心配いたしておりました。ところが突然の仰せに拙い私の司会で開催したにもかかわらず、大変盛り上がり貴重な体験をさせていただきました。

まず、はじめてお目に係る方ばかりでしたので自己紹介から始めましたがやはり接客業を生業としておられる女性の方達だけに端的にとってもわかりやすく日ごろの様子が手にとって見えてくるようでした。近頃話題のノルディック・ウォークについてお話する予定で用意してまいりましたが、その必要は全くなくむしろ時間が足りないと感じるほどに話は尽きませんでした。

地域によって御苦労は様々でしたが、基本的にはこの業界の悪しき商習慣はやはり全国的なもので大型店やネットによる攻勢、子供の減少による売り上げ低下、売掛金の回収等々同じでした。でも皆さんが色々工夫しておられるお姿にとっても元気をもらいました。

また若い方は40歳代からご年配の方は70歳代（とてもそんなお歳には見えませんでした）までご参加いただいておりますので、その年齢差による経営方針の違いもありました。と言いますのも団塊の世代は若い頃に品物を並べていれば売れていくというありがたい時期を経験しております。特にスキー全盛期には高額商品が面白いように売れて毎日がとても愉しかったことを思い出しました。それがまさにバブルというものだったのでしょう。だんだんと景気が悪くなるとともに

各地に、この人口の少ない島根でさえ大型店が複数店舗進出してきました。最初はこんなものに負けるはずはない、今までの付き合いがあるのだから・・・と慢心しておりました。ところがボディーブローのようにじわじわと効いてきました。その上にネット販売に追い打ちをかけられ散々です。

この業界はこれからどこへ向かうのでしょうか？と思っておりましたが、若くして社長をしておられる女性達の話は不安を払拭するに値するものでした。

ちゃんと数字で把握して経営しておられる様子、親の世代はこうだったからそこは改善する、これからの店舗のかたち、昔からの外商販売は利益があがっているか・・・等々まさに若い感性に則り新しい商売だなあと感心しました。と同時に少しくたびれて萎えていた商売に対する気持ちを奮い立たせてくれました。今後は自分ももっと心身ともに若く保ち先輩諸氏に負けぬよう若い人にも負けぬよう頑張っていきたいと思いました。そして今後ともこの意義深いレディースフォーラムがますます発展していくことを祈念いたします。それでは、また是非次年度石川県でお会いしましょう。



7年後のオリンピック



参議院議員

日本スポーツ用品協同組合連合会 顧問

橋本 聖子

今年9月7日、2020年夏季オリンピック・パラリンピックの開催都市が東京に決まりました。ブエノスアイレスで開催されたIOC総会にて、イスタンブールとの決選投票を制し、招致を勝ち取ることができたのです。

夏季オリンピックは1964年の東京大会以来、56年ぶりとなります。冬季の札幌大会（72年）、長野大会（98年）と合わせると、4度目の開催となります。今回の勝因はオールジャパン体制で臨んだことが大きいと思います。政財界はもちろんですが、国民の支持率も2016年大会の招致時より大幅に上昇しました。

しかし、東京は最初から優勢だったわけではありません。最終プレゼンテーションまで、三都市

は横一線とも言われていたのです。わが国に対して最も懸念されたのは、海外でも報じられている福島第一原子力発電所の汚染水問題です。最終プレゼンテーションの質疑応答において、安倍首相は「影響は原発の港湾内で完全にブロックされています」「福島近海でのモニタリング数値は、最大でもWHOの飲料水ガイドラインの500分の1です」と明言しました。安倍首相の力強い言葉であるという信頼感が、IOC委員の不安の解消につながったのだと思います。IOC委員の安倍首相への信頼は、すなわち世界の人々の、わが国への信頼です。そして、被災者をはじめとする国民の健康、水産資源や地下水の安全を守るためにも、汚染水問題は着実に収束させねばなりません。



東京オリンピック招致成功！

1964年に東京オリンピックが開催された時期の、国際社会における日本が置かれた立場と、2020年の立場とはまったく異なります。戦後復興の途上であり、高度成長の原点ともなった1964年の東京大会は、終戦から19年経て、自国の経済発展に誇りと自信をもって世界に発信したオリンピックでした。

では、2020年のオリンピックで日本は何を発信すべきでしょうか。それを明確にすることは大切なことです。日本は、これからの生き方、そして21世紀の成熟都市たる範を示し、加えて「ニッポン復活」を発信しようとしています。ロンドン・オリンピックでは、特に団体戦において体の小さな選手でも外国の大きな選手に勝てることを世界中に知らしめました。そして、私たち自身は、「和の精神」に基づく最後まで諦めずに頑張る力や団結力が国を変えていく原動力になることを再認識することができました。その原動力をもって国をどう変えていくかということを真剣に考えなければなりません。

私たちが思い描く東京大会は「アスリート・ファースト（選手第一）」を掲げ、全競技会場の85%が選手村から半径8km圏内に集中する「コンパクト大会」をうたっています。交通機関や宿泊施設が整い、治安もいい世界有数の都市基盤と、これまで様々な競技の国際大会を開催してきた実績を持つ高い運営能力が特徴です。

1964年の東京オリンピックは、戦後の日本が復興を経て、経済大国になっていく起爆剤となりました。日本人の忍耐力、勤勉さ、復興にかける思いが一つにまとまった結果だといえます。一方、ここ20年あまりを振り返ると、バブル崩壊からアメリカのリーマンショック、EUの経済破たん、世界経済は危機が続いています。だからこそ日本が苦境を乗り越えて新しい目標に向かう姿、復興を実現させた姿を、世界に発信する機会にしたいと思っています。そして、東日本大震災でご支援いただいた世界各国・地域から来日される方々に、その姿をご覧いただくとともに、心を込めて“おもてなし”したいと考えています。



2020年東京オリンピック・パラリンピックにむけて



一般社団法人日本スポーツ用品工業協会

専務理事・業務執行理事 **宮地 弘孝**

私たち、スポーツをこよなく愛する者として、世紀の祭典「東京オリンピック」が成功裏に開催される事を願うところであります。そして、わが国のスポーツ選手の活躍や、世界のアスリート達が競技に打ち込む姿を、わが国の人たちが目の当たりにすることによって、感動を覚え、スポーツの素晴らしさを再認識して、「Do Sports」に繋がる事を期待するものです。

ところで、このような世論を形成する大型スポーツイベントは、私達の力の範囲で行われるものではありません。オリンピックの主催者は、IOCであり、組織委員会であります。そして、主役はアスリートであります。私達の役目は、オリンピックによって盛り上がりを見せるスポーツに対する関心に対して、私達の本来的な務めである「Do Sports」の喜びを伝える事であると思います。即ち、私たちが提供する製品には、技術力・開発力・創造力・マーケティング力等が凝縮されており、それが不可欠な要素となっており、それらが一体となってブランドに対する信頼性や、ブランド価値となっていることを正確に伝えることであります。

さて一方で、スポーツの効用については多くが語られていますが、残念ながらスポーツがそれ自

体に包含する「危険」について語られることは多くはありません。スポーツを実践する者がそれを回避すべきであることは言うまでも無いところがありますが、製品性能の向上が著しい今日では、製品の安全性と相俟って、正しい「使い方・マナー・選び方・保管方法・メンテナンス方法等々」を、私たちが周到に用意すべきと思います。即ち、今、私たちの前にある社会の要求事項は、「安全」と「正しい情報提供」であります。そして、そこに、私たちのビジネスチャンスがあると思います。

健康であることを願うことは全ての人の願望であろうと思います。そして常に、スポーツは健康維持・増進の手段として語られ、少子高齢化社会を迎える我が国では、「国民の健康増進」が国策として謳われています。誰もが健康を望みながらスポーツを実践せずに居るのは、生活環境とスポーツ実践の距離が大きいからであると思います。

そこで、私達がビジネスチャンスを確実に掴み取り、高まりを見せるスポーツへの関心を維持、継続させるためには「モノ」「場」「サービス」の有機的な連携が必要ですし、また、「産」「官」「学」の協調も必要であると思います。



「おかげさまで 111 年」

(株)D & M

相談役 羽田野 隆司

2013JSERA 全国大会から戻って参りました。JSERA の名称になってから第 14 回、それ以前の全運小連（全日本運動具小売商組合連合会）から数えますと、平成 22 年が組合創立 50 周年でしたから、その歴史は遡る事 54 年になります。この全国大会には長年出席をさせて頂き 50 周年の時には外郭の者として、私だけが表彰の栄に浴しました。メーカーの立場と致しまして、誠に光栄で有難い事でありました。改めて長い間御引立賜りました事に深く感謝申し上げる次第であります。本年の全国大会は主管が中国ブロックで組合員の皆様のお骨折りで、出雲の地にて盛大に行われまして、まことに御同慶の到りでありました。又本年も例年通り、全国各地から選ばれました 13 名の方々が、各々の組合に対する長年の功績から本部表彰を受けられました。誠に御目出度うござります。組合の御役目と云ふものは、不定期に公私共に制約を受ける事が多く、この無言の約束事の上に立って長年勤められた方々に、心から感謝申し上げます。奇しくもこの中国ブロックはかつて全運小連が結成されました時、その中心にあった一人としてその労を担われた、当時の役員の山陽スポーツの小野本さんが居られました。仕事の道に入りまして約 10 年、ようやくスポーツ業界の三層、そして全国の様子が理解って来ました時代に、全国の小売店の方々の組織が各地で立ち上り、編成されて行くその黎明期に、大きな期待を以てその移り変りを大変興味深く見ておりました若かった頃を懐かしく思ひ起こしております。やはりこの出雲の地は縁結びの里なのでありませうか。あれから半世紀を軽く越しまし

て、先日会場でお目に掛る方々の八割以上が代替りされました。本来組合の業務等組織に於ての仕事は、以前から機会均等と云ふ考え方でおりましたが、この廿年程は経済も停滞し、後退する社も出て、残念乍らメーカー数も減少、交代のタイミングも計れず時間が推移しましたが、お蔭様を以ちましてこの春から夏迄に、業界内の組織のお役目を続てお暇させて頂くことになりました。本当に長い間御協力を賜りまして、厚く厚く御礼申し上げます。全国運動用品商工団体連合会会長職と日本スポーツ用品厚生年金基金理事長職は小賀坂スキー製作所の小賀坂会長が後を引き継いで下さいました。どうぞ宜敷く御協力賜ります様、私からも願ひ申し上げます。今迄に記録を拝見しますと、全運小連時代から全国大会と銘打った大会が、単年度に複数回開催された年も 8 回ありまして創立以来 50 回を優に超えておられます。出席させて頂いた事も 40 回以上あります。全国大会は確かにこの業界に生きて来た者としましては、やはりあの絶大なインパクトに良い意味で感激すべきでせう。然し本当に楽しく嬉しいのは、各縣の個々の組合の総会です。如何してもその範囲は限られますが、出来るだけ多くの所へ、出来るだけ毎回、回を重ねます。そこに見えて来るものがあります。その集大成が全国大会だと、私はそう思って今迄やって来ました。私をこんな心境にさせて下さった JSERA の皆様方に、永い御愛顧に、改めて厚く御礼を申し上げます。有難うござりました。そして末尾になりまして、大変恐縮でござりますが、JSERA の皆様方の益々の御繁昌を祈願申し上げます。

「ボールを贈ろう」皆様に感謝

日本スポーツ用品協同組合連合会
活性化委員会 土 赤 光 宏

全国にある 592 児童養護施設への実施 10 年事業『体育の日ボールを贈ろう』につきまして、全国の組合店にご協力いただいた事で、すべての施設にお届け出来ました。心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

全国の児童養護施設の方からは、一施設にボール 4 個（写真右）お届けさせていただいた訳ですが、数多くのお手紙や折り紙で作った花など心温まる感謝状をいただきました。（写真下）お手紙には、「もらったサッカーボールでがんばってサッカー選手になる」とか「みんなで楽しく遊びます」など、こども達からの嬉しいメッセージが添えられていました。拝見して改めて感じ感動した事に、ボール 4 個でもこども達から見てとても嬉しいものであった事がよく分かりました。そしてスポーツは未来を明るくさせる力があると言う事。私たち自身が元気有る行動を示して行かなければならないのだと痛感しました。

心ある感謝の言葉には、私たちが目的とする全国にある児童養護施設のこども達へ、ボールスポーツで明るい笑顔と健全な心を養ってもらうための意味を感じ取れました。まさに今回実施したことは、2013 年 JSERA のスローガン「ひとりの



力よりみんなの力」で取り組んだ結果であると思います。

この事業については、各組合に於いていろいろな取り組み方法がありますが、子どもたちの笑顔を見ると日々の苦勞を癒してくれ、大人として社会人としても、今後も継続して行く必要性を改めて認識させていただきました。

今後の課題としては、①贈り先などの検討②ボールだけでなく他スポーツ用品でも③補助金増額についてなどの事につきまして、今回の結果と前回いただきましたアンケートを基にさらに活性化委員会ですぐ検討して行きたいと思います。例えば新しい試みとして、地域の児童養護施設が集まった運動会への参画とか、地域の学校・企業と一緒にボールを贈ろう事業を展開させて行っても良いのではないのでしょうか。

結びに、今回の事業に際しましていろいろと励ましご意見をいただいた事、改めてお礼申し上げます。縁にもスポーツに携わって営んでいる私たちが『体育の日ボールを贈ろう』事業をさせてもらえる心、人のために出来る気持ちが大切であるし、次なるスポーツ業界の活路を見出す力に成ると言う確信が持てました。今後とも組合員皆様のご協力の基、歩みさせていただきます。 拝



オリンピック・こぼれ話し

広報委員長 角 前 博 道

2020年の夏季五輪の開催地が東京に決まったことは、我々業界にとってこれ以上ない喜びであります。JSERAも、オリンピック招致活動に力を入れて来まし、又ミズノの水野正人会長がわざわざ利益相反を防ぐ為とは云いながらミズノの会長職を退任までされて招致委員会のCEOに就任されたことは、ビックリする出来事でした。その結果オールジャパン体制で広く国民・都民の支持を得るべく頑張って招致活動が動き出し、今回の成功に結びついていったものと思います。

さて、そのオリンピックですが、古代オリンピックから近代オリンピックとその中身には、随分興味深いものがありますので、いろいろ紹介したいと思います。その前に古代オリンピックとは何かを少しお話ししたいと思います。それは、古代ギリシャのオリンピアで、紀元前776年から紀元後393年までの1169年間、最高神ゼウスに捧げる為、4年に1度開かれた運動競技の祭典。都市国家(ポリス)と植民地の男子市民が、陸上・レスリング・五種目競技などを全裸で行った競技であります。紀元後392年にローマのテオドシウス帝の異教禁止令によって廃止されるまで続いたそうです。競技は、すべて全裸で行われ、身にまといよいものと云えば、日焼け止めを兼ねたオリーブオイル、レスリングの時滑り止めを兼ねてつけた粉だけだったと云われています。そして、それはなぜか疑問にぶちあたりますが、競技に衣服をつける者は、体に自信がなくて隠したがる「粗野な未開

人」だと思われたそうです。又「美しく洗練された肉体を見せびらかす風潮もあり、理想に近い完璧な肉体は、精神や知性の完璧さも表現すると考へられていた様なので、その肉体美を誇示した。」と伝わっています。大会の期間は現在の近代五輪は概ね16日間ですが、5日間であった様です。

そして初日の開会式は、ゼウスの神像前で行われる選手・審判員の宣誓とラッパ奏者のコンテスト。第2日目は、戦車競争とペントスロン（五種競技）、第3日目は、ゼウス神へのいけにえ、午後スタジアムで、陸上競技、約192メートルの直線コースを走る短距離、それを1往復（384メートル）の中距離、そして、10往復（3840メートル）の長距離と三種目あったとのこと。そして4日目は、レスリング、ボクシングとパンクラティオンと呼ばれる格闘技。5日目は、勝者らにオリーブの冠を授ける「閉会式」だったと伝えられています。又女人禁制で女性は競技参加はおろか、一切見物をも許さ



れなかった様です。そしてその禁を犯したら、罰則は死刑。オリンピア近くの山頂の断崖から突き落とされることになっていました。その理由として考へられるのは、当時のギリシャローマの社会的差別（女性差別）が障害となっていたと思われまゝ。近代五輪でも、クーベルタン男爵が、かたくなに女性の競技参加を拒否し続けた後進性を考へれば、しかたないことだったのではないでしようか。

古代五輪を近代五輪がその慣行と模倣出来ない重大なことが1つあります。それは、大会中の停戦です。古代ギリシャでは4年に1度、五輪開催に先だち、オリンピアから各ポリスにオリブの輪をいただいた五輪停戦布告の使者が出発すると、その前後3ヶ月は五輪に参加するポリスと植民地はすべて武器を取ることを、放棄すべしと云うものであった。そしてこの五輪停戦は、きちっと守られた様で、あの歴史上有名なアテネとスパルタが戦ったペロポネス戦争（紀元前431-404）中でさえ守られたと云うことです。すごいことだと思いませんか！前にも記した様に1169年間ただの一度も戦争によって五輪が中止にならなかったのです。わずか108年間に世界大戦で三度の夏季五輪が中止になった近代五輪のなんとなさけないことか。今や平和の祭典と云う枕詞をはけて呼ばれるオリンピック。世界の選手が一党に会し、国境を越えて競いそしてたえ合うそんな姿を理想とし、東京五輪が真の平和の祭典となる様に、ただその運営が上手に行くことだけでなく、その平和精神を日本国民全員が強く持つべきだと考へます。

（次につづく）



● 編集後記 ●

11月3日日本シリーズ第7戦にて、楽天イーグルスが4勝3負で日本一になりました。「がんばろう東北」を合い言葉に勇気と感動を、東北の被災地の皆さんにもたらしたと思います。この熱戦を応援していた東北の人達もきっと「東北の底力を見せよう」と頑張ってくれるのではないかと思います。我々JSERAも東北の復興を願い「東日本大震災ウォーキング大会」を活性化委員会の皆さんの結束力と、その行動力で昨年見事に成功し、参加者200余名の人達に力強い感動を与えてくれたことと思います。早く東北の地に真の春が来ることを願ってやみません。

（H.K）

